

観光庁 4～6月期 訪日外国人消費動向調査

1人当たり旅行中支出は11万1128円

4～6月期・暫定値 訪日外国人1人当たりの旅行支出（国籍別）

単位：円				単位：泊、円		
	a. パッケージツアー・往復航空運賃支出 (旅行前支出額)	b. 日本国内における旅行支出 (旅行中支出額)	c. 総支出額 (= a + b)	d. 平均泊数	1泊当たり旅行中支出額 (= b / d)	1泊当たり総支出額 (= c / d)
全体	85,302	111,128	196,430	13.0	8,555	15,122
韓国	37,414	66,771	104,185	7.0	9,579	14,946
台湾	55,981	87,227	143,208	6.7	12,966	21,288
香港	59,313	80,271	139,584	4.7	16,921	29,424
中国	61,844	152,558	214,402	21.6	7,065	9,929
タイ	93,328	130,481	223,808	15.2	8,563	14,688
シンガポール	82,873	130,207	213,080	7.4	17,715	28,990
マレーシア	84,591	129,066	213,656	10.9	11,827	19,578
インド	116,981	105,947	222,929	23.4	4,518	9,507
英国	1,630,091	135,378	298,468	12.8	10,617	23,407
ドイツ	168,141	112,019	280,160	14.3	7,826	19,573
フランス	138,807	169,986	308,793	15.5	10,988	19,960
ロシア	84,584	217,067	301,651	33.3	6,514	9,052
米国	145,372	120,012	265,383	17.7	6,794	15,023
カナダ	153,147	142,843	295,990	23.8	6,004	12,440
オーストラリア	154,402	127,226	281,628	10.9	11,635	25,755
その他	165,929	145,819	311,748	17.1	8,528	18,232

注意：支出額の全体平均は、国籍別平均値を日本政府観光局（JNTO）発表の訪日外客数をウェイトとして加重平均したもの

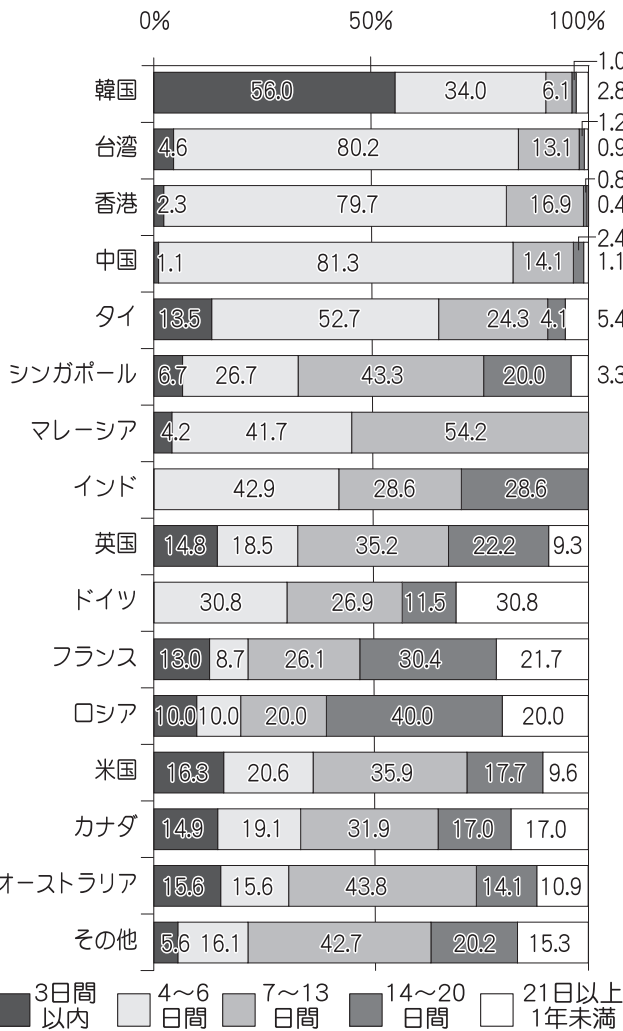
観光・レジャー目的の訪日外国人の動向

○観光・レジャー目的で訪れた訪日外国人の滞在日数を国籍別にみると、韓国では「3日間以内」の滞在が56.0%と他の国籍に比べて多い。中国、台湾、香港では「4～6日間」の割合が高く、約8割を占める。フランスやロシアでは、14日間以上の滞在が過半数を占めている。

○日本への来訪回数では、韓国、台湾、香港、タイで2回目以上が多く、中国とロシアでは「1回目」が7割占める。

○同行者は、東アジアでは「家族・親族」の割合が高く、欧米では「自分ひとり」の割合が高い。

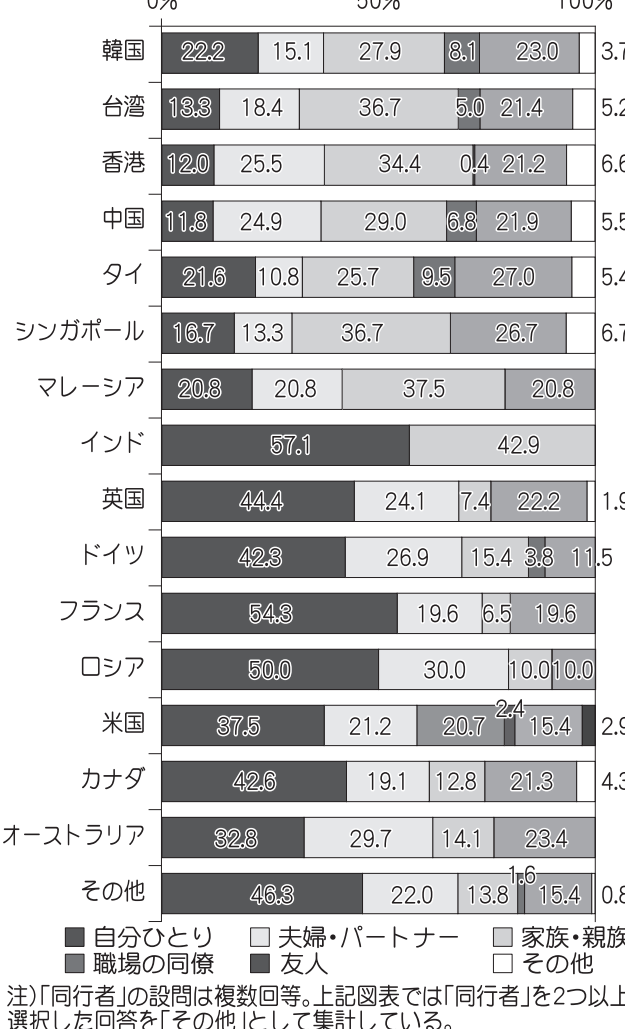
滞在日数
(国籍別、観光・レジャー目的のみ)



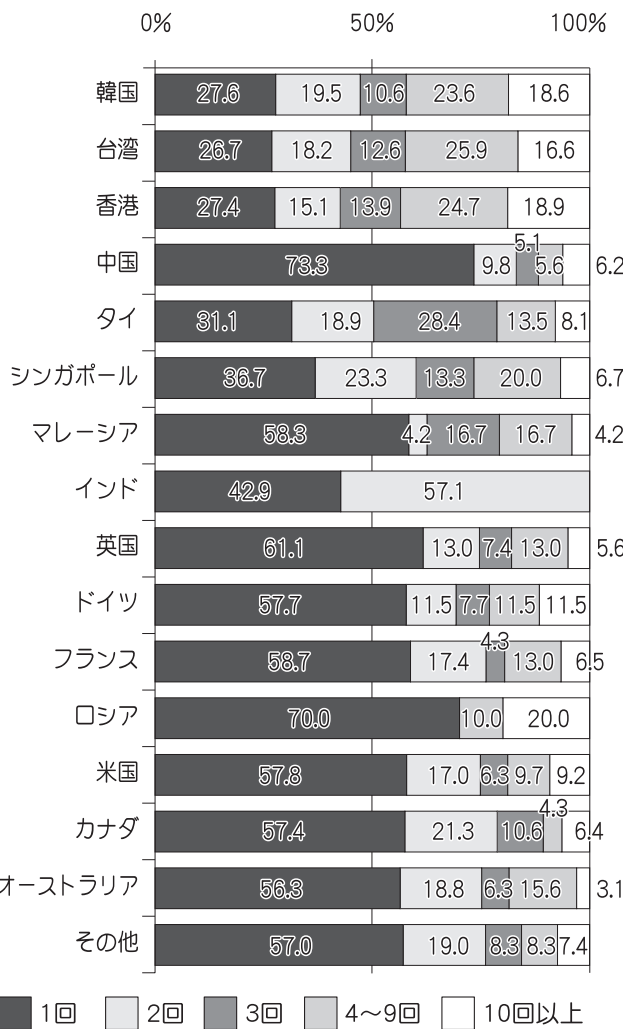
利用した宿泊施設タイプ（複数回答）
(国籍別、観光・レジャー目的のみ)

	ホテル (洋室中心)	旅館 (和室中心)	別荘・コンド ミニアム	親族・ 知人宅	(%)
韓国	78.9	10.2	1.7	10.2	
台湾	88.6	24.4	0.9	4.6	
香港	93.7	11.9	0.0	2.4	
中国	89.3	39.0	0.3	4.7	
タイ	78.1	39.7	2.7	4.1	
シンガポール	79.3	41.4	0.0	10.3	
マレーシア	87.5	16.7	0.0	8.3	
インド	71.4	14.3	0.0	42.9	
英国	74.1	22.2	3.7	24.1	
ドイツ	50.0	38.5	0.0	30.8	
フランス	76.1	26.1	2.2	15.2	
ロシア	70.0	30.0	0.0	20.0	
米国	78.7	19.8	1.0	17.4	
カナダ	76.6	19.1	2.1	6.4	
オーストラリア	82.5	27.0	0.0	9.5	
その他	76.6	16.9	3.2	20.2	

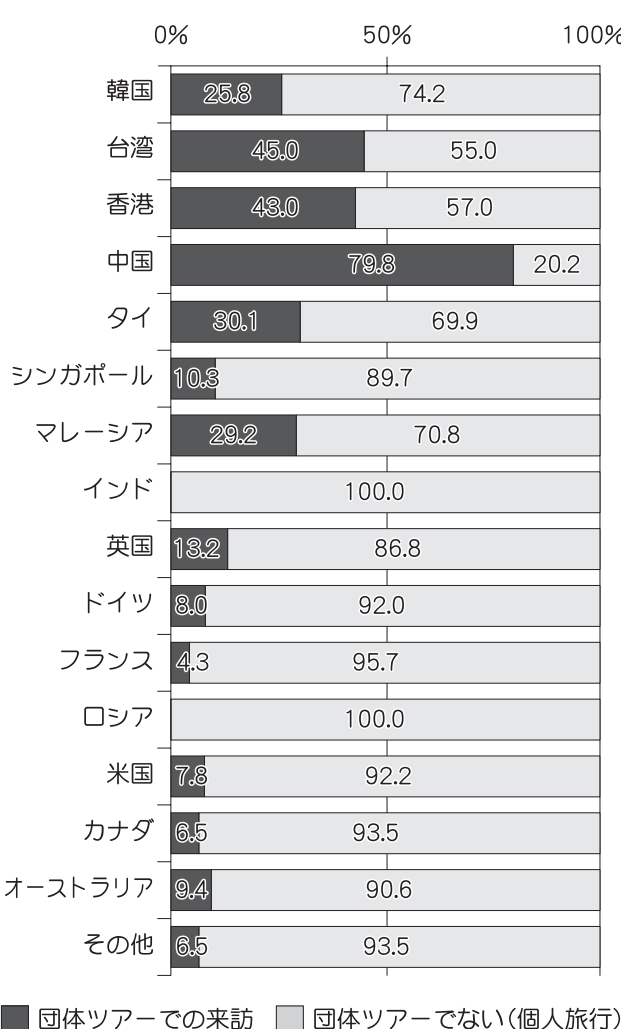
同行者
(国籍別、観光・レジャー目的のみ)



日本への来訪回数
(国籍別、観光・レジャー目的のみ)



団体ツアー参加状況
(国籍別、観光・レジャー目的のみ)



○観光・レジャー目的の訪日外国人が利用した宿泊施設タイプ（複数回答）をみると、「ホテル」の利用が主流となっている。一方で「旅館」の利用率は、中国、タイ、シンガポール、ドイツで4割前後と高いほか、台湾、英国、フランス、オーストラリアで25%前後になっている。

○団体ツアーへの参加状況を見ると、中国では参加率が8割近くを占める。東アジアでは台湾、香港が45%前後、韓国は25%となっている。欧米では全般的に個人旅行が大半を占める。

◇調査場所
下記の空海港の国際線ターミナル搭乗待合ロビー
新千歳空港、仙台空港、新潟空港、東京国際空港（羽田空港）、成田国際空港、中部国際空港、関西国際空港、広島空港、福岡空港、那覇空港、博多港
注意：仙台空港と新潟空港は、調査便欠航などの理由により今期の調査は実施していない。